

法人名

特定非営利活動法人
コミュニティケアクラブ埼玉

事業名

高齢期・終末期サポート事業

事業内容

自分たちが長年住み慣れた場所を離れることなく、地域の中で育んできた人間関係を保ち、たすけあいながら「最期まで地域の中で自分らしく生きる」ために、地域の皆様の老後を応援する「古い支度を考える連続講座」に取り組みました。

古い支度を考える連続講座2022



古い支度を考える連続講座2022

7月12日 第1回「リビングウィル・人生会議～最後の選択」

参加者20名

命にかかわる病気になったときの医療との付き合い方、人生の最終段階で自分はどん医療やケアを望むのかを考る。
認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長
山口育子氏

8月23日 第2回 ワークショップ「死の体験旅行」

参加者20名

自分にとって大切なものは何か。それがどんなに大切でも死ぬときには手放すことになる人は終末期にはどんな気持ちになるのか。死の疑似体験

【ファシリテーター】倶生山慈陽院なごみ庵住職 浦上哲也氏

9月10日 第3回「遺言書の書き方」 参加者13名

遺言とは何か。遺言はどのような人に必要なのか、遺言でできること、できないことはどんなことなのか。事例を含めて最近の民法の改正内容を含めて学ぶ。

【講師】司法書士法人大久保事務所・司法書士

大久保啓介氏

10月29日 第4回「海洋散骨体験クルーズ」 参加者20名

海洋散骨はどのように行われるのか、実際に小型船に乗って東京湾に出て、模擬散骨の体験をします。

【講師】㈱ハウスボートクラブ ブルーオーシャンセレモニー

11月19日 第5回「成年後見制度(法定後見・任意後見)」

参加者21名

判断力が衰えても、その人の権利を守り支えてくれる制度

があります。成年後見制度もその一つです。

実際にどんな制度なのか、利用するとよいのはどんな人が費用や手続きについて学ぶ。

【講師】よこた社会福祉士事務所・社会福祉士

横田勉氏

12月17日 第6回「地域の葬儀の実情」(葬儀会館見学あり)

参加者10名

地域や風習により葬儀は様々なかたちがあり、近年ではコロナ禍により変化しつつあります。改めて葬儀とはなにか、葬儀にかかる費用や葬儀社との契約のポイント、葬儀事情について考える。

【講師】株式会社ティア 関東支社 関東事業本部

エリアマネージャー 藤井 敬介氏

1月14日 第7回「死後事務委任の実際」 参加者27名

死後には葬儀・埋葬、その他さまざまな手続きがありますが、それを生前に予め契約しておく制度です。主な契約内費用、遺言書との違い等、実際の事例を交え学ぶ

【講師】吉村行政書士事務所 代表 吉村信一氏

2月11日 第8回「家族信託」 参加者18名

将来自分の資産を管理できなくなった場合に備えて前もって信頼できる家族に託し、管理・処分を任せる方法です。

【講師】かしのき総合法務事務所 代表 柏原昌之氏

事業の成果

- 1 老いに関する不安や課題解決に貢献できた
- 2 さまざまな制度を知る機会を提供した
- 3 終末期サポート事業を開始できた

今後に向けて

- 1 老いに関する不安や課題の解決への貢献する
- 2 さまざまな制度を知る機会を提供する
- 3 元気なうちに自ら備える重要性の周知を行う